

知らなきゃ損する

歯

の は な し



帰ってきた!!

埼玉県羽生市 木村歯科医院 HIにてバックナンバー掲載中!!

⑬ インプラント専門医の勧めるコーヌスクローネ義歯③

多くの利点があるコーヌスクローネを使った入れ歯治療ですが、このコーヌスクローネ義歯にも欠点があります。

それは、残存している歯を内側の冠を被せる様にするため削らなければならぬ事です。反対に歯が1本も無い方はインプラントを併用するため、そんな悩みは考えませんが、残っている歯を使うためには歯を削らなければならぬのです。

この点に関しては、当院の「歯をなるべく削らずに残す」という方針に



矛盾してしまいますが、私の今までの歯科医人生で、たとえ無傷の歯を残したとしても、結局のところ歯周病で抜かなければならなくなってしまうたということがあり、揺られていて噛めない歯をだましましたし残す事が健康

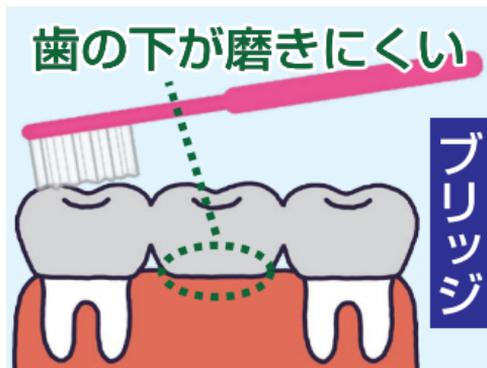
生活なのか、それとも、使えない歯は削ってでもしっかり処置をして延命させ、土台として使う方がいいのかは要相談となります。

何よりのこの治療になれば支台の歯を綺麗に磨くことができるようになります、歯周病だった歯も回復するようになります。

一方、ブリッジという一本歯が無い所を両端の歯を削って3本つなぎで被せる治療法も、真ん中の歯の下側を磨けていない方が多く、中には数年

で両端の歯ごと駄目になってしまいう方もかなりいらっしゃると思います。そのため、当院ではブリッジ治療は基本的には選ばない方針を取っています。

コーヌスクローネ義歯は自分で外す事ができるため、すべての部分を磨



くことができ、管理できます。そして、自分自身で管理できるからこそ、たとえ治療時に使える歯を削ったとしても、結果的には歯を残す事ができるようになります。

歯を削らないで残しても噛めなければ健康にはなれません。なぜなら私の考える健康とは「歩いて噛める事」だからです。そして、噛めるように治療したら、できれば10年、20年、30年と対応できるようにすることが、超高齢社会に向けた現在の最新の治療だと思えます。

院長の無料相談

歯の無料健康講座

歯と全身の健康の関わりや間違わない治療方法など現役歯科医師が解説。次回は5月10日(火)、14日(土) 15時30分から約60分

院長の無料相談

コラムを執筆する木村匡司院長が、お口のことなら何でも相談に応じます。毎日実施中。



通話料無料
フリーダイヤル

0120-255-418